

分科会 NO	[4日 午後] 実践発表				
	テーマ	発表者・パネリスト		発表の概要	講師
1	動画教材をフル活用したアクティブ・ラーニング ～ 思考力・判断力・表現力の育成 ～ センター棟 417	石井里枝	宮城県 仙台市立錦ヶ丘小学校	5年・社会 思考力を育成するための『未来広告ジャパン!』を活用した協働学習	稲垣 忠 東北学院大学
		安井政樹	北海道 札幌市立新琴似北小学校	5年・図工 『キミなら何つくる?』のアプリ等を活用したアクティブ・ラーニング	
		木村 諭	東京都 足立区立洲江中学校	1年・社会 地理的分野における、視聴覚教材を活用した主体的・協働的な学習	
2	タブレット端末を活用した「わかる・できる」授業 ～ 個の学びが見える授業の創造 ～ センター棟 416	岡田江奈実	東京都 北区立豊川小学校	3年・体育 浮く、泳ぐ運動における『はりきり体育ノ介』の番組とアプリの活用	今野貴之 明星大学
		福田 晃	石川県 金沢市立十一屋小学校	6年・社会 『歴史にドキリ』のクリップを使った一人1台での調べ学習	
		菊地 寛	静岡県 浜松市立三ヶ日西小学校	6年・理科 『ふしぎがいっぱい』を活用した、グループに1台での問題解決学習	
3	情報と仲良く付き合う、正しく向き合う ～ 情報モラル教育・情報安全教育の最新事例 ～ センター棟 310	西原 大	東京都 足立区立六月中学校	全年・特活 情報モラル教育の実践 セーフティー教室や授業等の取り組みを通して	藤村裕一 鳴門教育大学 大学院
		望月 武	愛知県 名古屋市立田代小学校	6年・総合 携帯電話・情報端末に関する、児童の未来を考えた予防的な指導	
		山口真希	石川県 金沢市立小坂小学校	4年・国語 『お伝と伝じろう』を活用した新聞作りでのメディアリテラシーの育成	
4	ユニバーサルデザインを意識した授業づくり ～ 特別支援教育のメソッドから学び ～ センター棟 405	勝井まどか	三重県 鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校	特別支援学級 『できた できた できた』の学習効果定着を目指したショートムービー制作	波多野和彦 江戸川大学
		下里美由輝 藤田陽子	神奈川県 川崎市立下布田小学校	特別支援学級 『スマイル!』を活用したソーシャルスキルの育成を目指した活動	
		山田 充	大阪府 堺市立日置荘小学校	特別支援学級 苦手意識を克服! 視覚、聴覚、触覚に働きかける“漢字が好きになる”授業	
5	“Let's Speak English!” English lessons using ICT ～ 情報活用で言語力を高める ～ センター棟 311	築地宏文	福岡県 岡垣町立山田小学校	6年・外国語活動 『プレキソ英語』を活用した学級担任主導の授業モデル	小泉清裕 昭和女子大学 附属沼津小学校
		米田謙三	大阪府 羽衣学園中学校・高等学校	2年・英語 『ロンリのちから』による文章の構造的把握を高校英作文に生かす活動	
		山本英樹	奈良県 法隆寺国際高等学校	英語部 “三民家商高校”(台湾)との協働英語プレゼンテーション制作活動	
6	「考える道徳」「いじめ予防」を実現させる ～ 健やかで豊かな心を育む ～ センター棟 401	水野宗市	宮崎県 宮崎市立国富小学校	3年・道徳 望ましい人間関係と道徳的実践力を育むための『時々迷々』の活用	中橋 雄 武蔵大学
		飯塚喜大	埼玉県 志木市立宗岡第二中学校	1年・特活 『いじめをノックアウト』を活用した一人一人が考える学級活動	
		小森量平	北海道 札幌市立真駒内公園小学校	6年・道徳 『ココロ部!』の活用で意見交流から考えを深め広げる「考える道徳」	
7	幼稚園・保育所での効果的なメディア活用術 ～ 子どものイメージを広げ、情操を育てる ～ センター棟 403	岩崎優子	神奈川県 川崎市 くらわのぞみ保育園	年長 『ノーゾーのひらめき工房』を活用した主体性を伸ばす表現活動	松山由美子 四天王寺大学 短期大学部
		野口哲也	東京都 福生市 聖愛幼稚園	年長 タブレット端末を活用したコミュニケーション能力の育成	
		山平祐理	北海道 石狩市 花川南認定こども園	年中・年長 『ミミクリーズ』を活用した想像力と思考力の育成	
8	子どもが生き生きと学ぶ授業づくり ～ 放送学習の新たなモデルを目指して ～ センター棟 402	浅村芳枝	山口県 下松市立公集小学校	5年・家庭 自立的に生きる力の育成を目指した『学ぼう BOSAI』の活用	堀田博史 園田学園 女子大学
		黒田俊介	神奈川県 川崎市立富士見台小学校	6年・国語 書く能力・書くこととする態度を育てる『伝える極意』等を活用した実践	
		片岡義順	神奈川県 川崎市立新城小学校	6年・算数 算数的活動の充実を図るための『さんすう刑事ゼロ』の活用	
9	地域再生を目指したメディア利用の可能性と課題 — パネルディスカッション — センター棟 309	野澤俊雄	NPO さいたま映像ボランティアの会理事	小中学校の総合学習「映像制作学習」への支援活動の紹介(年間100クラス実施予定)	伊藤敏朗 東京情報大学
		松澤澄江	神奈川県 横須賀市 16ミリ試写室会長	年間100回を超える映画会の実施、地域活動の様子などの活動についての紹介	
		高見晴彦	兵庫県 篠山市視聴覚ライブラリー係長	26年に及ぶ丹波篠山ビデオ大賞の実績やインターネットTVについての紹介	

○分科会1～8では、実践発表と質疑・講評を行います。  
○9を除き、表記順での発表となります。  
○各実践発表の間には10分の移動時間を設けています。  
○分科会9は、パネルディスカッションを行います。

こんな参加の仕方ができます!

- いろいろな社会科の授業を見てみたい
- 中学校の実践を見比べてみたい
- NHK for School を活用した授業づくりを学びたい
- 様々な校種による ICT 活用事例の違いを知りたい
- 今日の教育課題にかかわる実践事例を知りたい

…などの、興味・関心に沿った参加ができます。



大会指導講師  
(幼保・学校関係統括)  
堀田博史先生  
[園田学園女子大学教授]

[5日 午前] ワークショップ・研究交流					
No.	テーマ	対象	講師	内容	会場
1	アクティブ・ラーニングの実現に向けて	幼稚園・保育所 小学校 (低学年)	堀田博史 (園田学園女子大学)	タブレット端末による『しぜんとあそぼ』の視聴と、フィールドワークなどの活動を通じた保育方法について考え合います。	センター棟 402
2		小学校 特別支援学校	木原俊行 (大阪教育大学大学院)	特別の教科「道徳」の授業づくりに関するワークショップです。模擬授業、番組分析等を踏まえて新たな道徳の授業のあり方をさぐります。	センター棟 310
3		小学校 特別支援学校	稲垣 忠 (東北学院大学)	タブレットを使って情報を収集→整理→プレゼンする情報活用型授業を体験し、学びの質を高め、授業デザインについて深めます。	センター棟 311
4		小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	中川一史 (放送大学)	グループ1台のタブレット端末を活用した協働学習の可能性について、当日は理科の模擬授業を通して体験的に学びます。	センター棟 416
5	地域映像の制作配信システムとその活用	全国視聴覚教育連盟 全国公立視聴覚センター 連絡協議会	吉田広毅 (常葉大学)	地域映像の制作及び配信の可能性と活用について話し合います。	センター棟 309
6	いま瞬間を伝える	視聴覚教育・放送教育関係 OB・OG 一般	徳田 章 (NHK アナウンサー)	『NHKのだ自慢』などでの視聴者や出演者との接点を通して、生き生きと「その時」を伝えるアナウンサーの役割を、エピソードや体験をまじえてお話しします。	センター棟 401

※「一般・OB部会」参加を検討される方は欄内をクリックしてください(別紙「ご案内」が表示されます)。

### [5日 午後] 全体会

カルチャー棟 小ホール

- 開会行事
  - 主催者挨拶 ○来賓挨拶 ○功労者表彰
- NHK プレゼンテーション
 

NHK for School の学習コンテンツについて、最新情報や活用のポイントなどを制作者が紹介します
- 大会のまとめ
 

大会の成果と課題について堀田博史先生からお話を伺います
- スペシャルトーク
 

NHK Eテレ『ウワサの保護者会』番外編  
《出演》 尾木直樹(法政大学教授・教育評論家)  
高山哲哉(NHKアナウンサー)

尾木ママの『ウワサの職員会議!』スペシャルトーク MC:高山哲哉 NHKアナウンサー



5日の全体会には、NHK Eテレで放送中の人気新番組『ウワサの保護者会』の番外編トークを行います。

「小学生がスマホを持つ時代、コミュニケーションはどう変わるの?」「アクティブ・ラーニングって、ホントはどんなモノ?」「ICTのせいでもますます忙しくなっています!なぜ!」など、職員室では声にしにくい話題も、会場を巻き込んでぶっちゃけトークしちゃいます!

## 参加申し込み

原則として、次のホームページからお申し込みください。

申し込み先 URL <http://www.javea.or.jp/soutai/>  
〈日本視聴覚教育協会ホームページ内〉

資料代 3,000円  
(OB・OG; 1,000円)

- ◆振込先◆ 三井住友銀行 日比谷支店 普通預金  
 口座番号: 8393920  
 口座名義: 視聴覚・放送合同大会  
シチョウカク ホウソウゴウドウタイカイ
- ◆事前申込締切◆ 平成27年(2015年)7月17日(金)  
 ※7月24日(金)までに振込をお願いします。

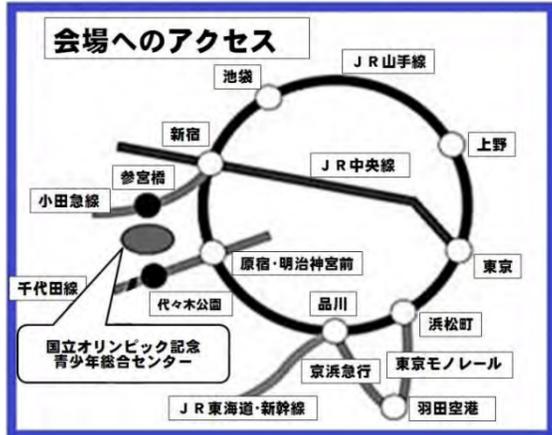
### 申し込みにあたって

- ホームページ上の例を参考に項目ごとに入力してください。
- お申し込みは必ずお一人ずつ入力をお願いします。
- 振込手数料はお申し込み者のご負担をお願いします。
- お申し込み後、変更が生じた場合は、電子メール(taikai@javea.or.jp)もしくは、FAX(03-3431-2192)でご連絡ください。

大会当日は、受付等でたいへんな混雑が予想されます。ぜひ、事前の申込、資料代の振込をお願いいたします。

### 参加上の留意点

- ワークショップで使用できるタブレット端末の台数には限りがあります。
- 宿泊についての斡旋は行っておりません。ご自身で手配をお願いいたします。なお、国立オリンピック記念青少年総合センターでは、空きがあれば宿泊予約が可能です。  
[問い合わせ先] 03-3469-2525
- 昼食は、センター棟2階カフェテリア、または、カルチャー棟2階レストラン等がご利用いただけます。
- 自家用車での来場はご遠慮ください。



### >>> 主催 >>>

- 全国放送教育研究会連盟 NHK
- 視聴覚教育総合全国大会連絡協議会
- 日本学校視聴覚教育連盟
- 全国高等学校メディア教育研究協議会
- 全国視聴覚教育連盟

### >>> 共催 >>>

- 一般財団法人 NHK サービスセンター

### ■ 問い合わせ先

- 全国放送教育研究会連盟事務局  
<http://www.zenporen.jp/>  
 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1  
 NHK事業センター内  
 TEL 03-5455-4310 FAX 03-3481-1372
- 一般財団法人 日本視聴覚教育協会  
<http://www.javea.or.jp/soutai/>  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-10-11  
 (虎ノ門PビルB1)  
 TEL 03-3431-2186 FAX 03-3431-2192

実践発表&ワークショップ&スペシャルトークでつかもう!

# アクティブ・ラーニングに向けた

# 体感! ICT 活用のツボ

平成27年度

第19回視聴覚教育総合全国大会 第66回放送教育研究会全国大会  
 合同大会

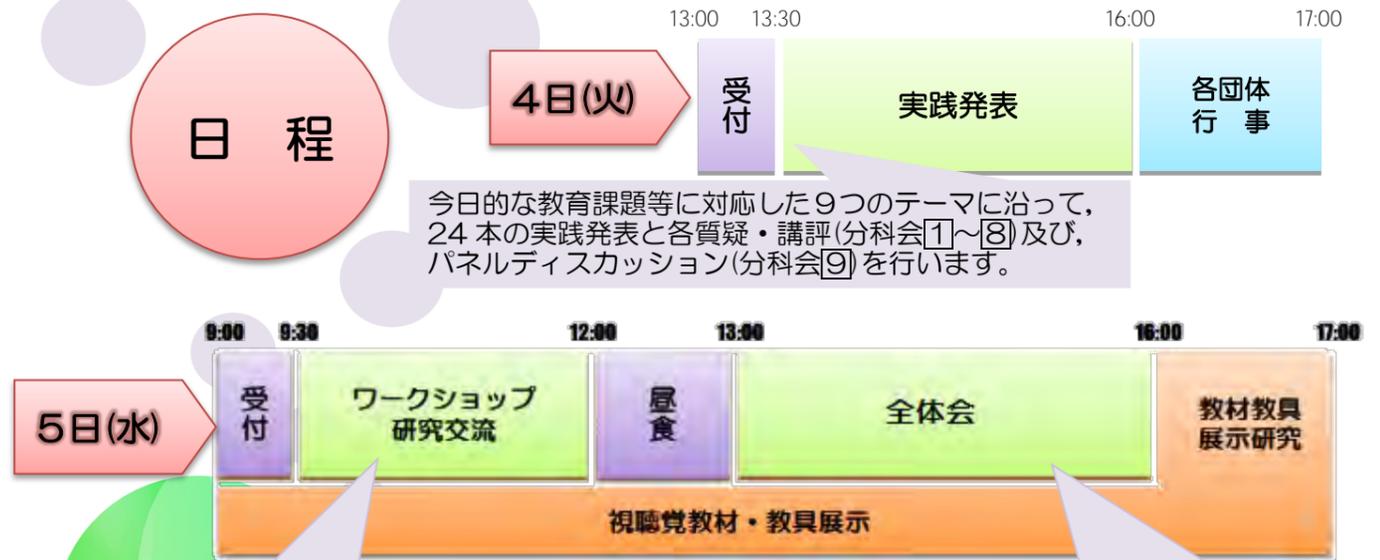
[大会テーマ] ネットワーク社会におけるメディアとヒューマンコミュニケーション

平成27年 8月4日(火)・5日(水)

実施日  
 会場

国立オリンピック記念青少年総合センター  
 東京都渋谷区代々木神園町3-1

## 日程



今日的な教育課題等に対応した9つのテーマに沿って、24本の実践発表と各質疑・講評(分科会①~⑧)及び、パネルディスカッション(分科会⑨)を行います。

アクティブ・ラーニング時代に対応した体験的な研修や、生涯学習についての研究交流を行います。

大会の締めくくりとして、NHK Eテレ『ウワサの保護者会』に出演の“尾木ママ”こと尾木直樹さん(法政大学教授・教育評論家)をお迎えし、これからの時代のコミュニケーションのあり方について「スペシャルトーク」を行います。

本案内は、5月末日現在の情報で作成しています。今後、新しい情報は右記のホームページでご確認ください。

<http://www.javea.or.jp/soutai/>